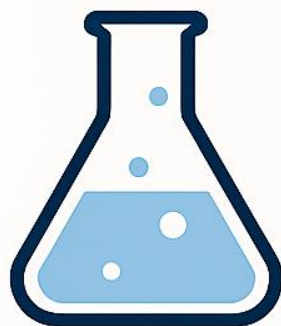


化学物質管理

SDSとリスクアセスメントの活用



厚生労働省

ひと、くらし、みらいのために

小松労働基準監督署



第1部

安全データシート(SDS)の活用

第2部

クリエイトシンプルを用いたリスクアセスメント

安全データシート(SDS)の活用



お使いの製品が、どのような法令の規制を受けるのか確認します。

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9)

名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3)

毒物及び劇物取締法

腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)

劇物(法第2条別表第2)(政令番号:2-54)

劇物(指定令第2条)(政令番号:68)

海洋汚染防止法

有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

船舶安全法

腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法

腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

労働基準法

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53労告36号)

例示の物では、労働安全衛生法において、「**名称等を表示すべき危険有害物**」に区分されているため、**化学物質管理者の選任、リスクアセスメントの実施**が必要になります。

第1部 安全データシートの活用

次に、お使いの製品にどのような危険があるのかを確認します。

【危険有害性の見方】

・区分1～4

何らかの危険がある場合に区分1～4が付けられます。数字が若いほど危険性が高くなります。

・分類できない

データ不足等により、危険性が定かでないものになります。作業状況等を勘案して対策の要否を判断しましょう。

・分類対象外、区分外

性状違いや区分に該当しないものになります。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類実施日
物理化学的危険性

H22.2.19、政府向けGHS分類ガイダンス(H21.3版)を使用

火薬類	分類対象外
引火性・可燃性ガス	分類対象外
引火性エアゾール	分類対象外
酸化性ガス類	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	区分外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性物質	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類できない
有機過氧化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
皮膚腐食・刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性・刺激	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく)	区分1(呼吸器)
特定標的臓器毒性(反復ばく)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

健康に対する有害性

汚染時の対応について確認し、製品を使用する作業者に周知しましょう。

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

眼に入った場合

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
直ちに医師に連絡すること。

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

予想される急性症状及び遅発性症状

直ちに医師に連絡すること。
吸入：腐食性。灼熱感、咽頭痛、咳、息苦しさ、息切れ。症状は遅れて現われることがある。

最も重要な兆候及び症状

皮膚：腐食性。発赤、痛み、重度の皮膚熱傷、水疱。
眼：腐食性。発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷。
経口摂取：腐食性。灼熱感、腹痛、ショック/虚脱。
肺水腫の症状は2～3時間経過するまで現われない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。

応急措置をする者の保護
医師に対する特別注意事項

データなし
データなし

火災時・漏出時については、普段利用することはありませんが、少なくとも化学物質管理者の方は把握しておきましょう。

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
棒状放水

不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び毒性の煙霧を発生するおそれがある。

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

消火を行う者の保護

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および
緊急措置

全ての着火源を取り除く。

環境に対する注意事項

回収・中和

封じ込め及び浄化方法・機材

二次災害の防止策

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離す
関係者以外の立入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

環境中に放出してはならない。

漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

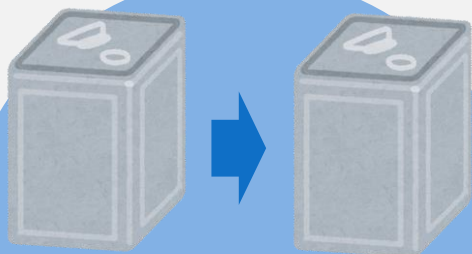
水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

クリエイティブを用いた リスクアセスメント



リスクアセスメントはいつ行わなければならない？



対象物を新規に
採用・変更したとき



作業方法、手順を
新規に採用・変更
したとき



対象物の危険性・有害
性に変化が生じ、又は
そのおそれがあるとき

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント



検索エンジンで **職場のあんぜんサイト** と検索します。

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



国立労働安全衛生総合研究所
National Institute of Occupational Safety and Health, Japan

職場の安全を応援する情報発信サイト/
職場のあんぜんサイト

▶ HOME ▶ お問い合わせ ▶ サイトマップ 検索

 労働災害統計

 労働災害事例

 各種教材・ツール

 **化学物質**

- 各種教材・ツール (日本語) • [Learning Materials and Tools](#) (英語) • 各种教材、资料 (中国語)
- [Các loại giáo trình/công cụ](#) (ベトナム語) • [Iba't ibang materyales/kagamitan sa pagtuturo](#) (フィリピン語)
- [សម្ភារៈអប់រំផ្សេងៗនិងឧបករណ៍](#) (カンボジア語) • [Semua Materi & Sumber](#) (インドネシア語)
- [ສຳລັບການສອນປະເພດຕ່າງໆ](#) (タイ語) • [သင်ဆောင်ကူပစ္စည်းအမျိုးမျိုး](#) (ミャンマー語)
- [प्रत्येक किसिमको शिक्षण सामग्री, उपकरणहरू](#) (ネパール語)
- [Төрөл бүрийн сургалтын материал болон хэрэгсэл](#) (モンゴル語)
- [Materiales educativos y otras herramientas](#) (スペイン語)
- [Materiais e Ferramentas de Aprendizagem](#) (ポルトガル語) • [각종 교재 · 도구](#) (韓国語)

働く人

家族

企業

みんなが元気になる職場を創りましょう。



タブの「化学物質」をクリックします

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



独立行政法人労働安全衛生総合研究所

労働安全衛生総合研究所
National Institute of Occupational Safety and Health, Japan

\職場の安全を応援する情報発信サイト/ 職場のあんぜんサイト

▶ HOME ▶ お問い合わせ ▶ サイトマップ

検索



労働災害統計



労働災害事例



各種教材・ツール



化学物質

化学物質のトップへ

- 安衛法名称公表化学物質等
- GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報
- GHS対応モデルラベル作成法
- 化学物質による災害事例集
- 化学物質のリスクアセスメント実施支援
- その他の情報はこちら
(化学物質のトップへ)

● [Materiales educativos y otras herramientas \(スペイン語\)](#)

● [Materiais e Ferramentas de Aprendizagem \(ポルトガル語\)](#) ● [각종 교재 · 도구 \(韓国語\)](#)

「化学物質のリスクアセスメント実施支援」をクリックします

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント



\職場の安全を応援する情報発信サイト/ 職場のあんぜんサイト

▶ HOME ▶ お問い合わせ ▶ サイトマップ

検索



労働災害統計



労働災害事例



各種教材・ツール



化学物質

ホーム > 化学物質のリスクアセスメント実施支援

化学物質のリスクアセスメント実施支援

目次

労働安全衛生法による化学物質のリスクアセスメントについて

詳しくはこちら >

リスクアセスメント支援ツール

詳しくはこちら >

リスクアセスメント実施・
低減対策検討の支援

詳しくはこちら >


関連ページ

詳しくはこちら >

「リスクアセスメント支援ツール」をクリックします

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

＜厚生労働省作成のツール＞

名称 (リンクをクリックすると概要説明に移動します)	対象	特色	マニュアル・参考	ツールへのリンク
厚生労働省版コントロール・バンディング	有害性	ILO(国際労働機関)が中小企業向けに作成した作業者の安全管理のための簡易リスクアセスメントツールをわが国で簡易的に利用できるように厚生労働省がWebシステムとして改良、開発したものの。液体・粉体作業用と主に粉じん則に定める粉じん作業用の2つのシステムあり。化学物質の有害性情報、取扱い物質の揮発性・飛散性、取扱量から簡単にリスクの見積もりが可能。平成31年3月から、「液体・粉体作業」でもハザードレベルとして許容濃度を選択することが可能になりました。 【初級】	<ul style="list-style-type: none"> 液体・粉体作業 粉じん作業 	<ul style="list-style-type: none"> 液体・粉体作業 粉じん作業
爆発・火災等のリスクアセスメントのためのスクリーニング支援ツール	危険性	化学物質や作業に潜む代表的な危険性やリスクを簡便に「知る」ことに着目した支援ツール。ガイドブックでは、化学物質の危険性に関する基本的な内容に加え、代表的なリスク低減対策についても整理されているため、教科書として危険性に関する基礎を学ぶことが可能。 【初級】	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル 入門ガイド <ul style="list-style-type: none"> 概要版 全体版 	<ul style="list-style-type: none"> 爆発・火災等
作業別モデル対策シート	有害性	主に中小規模事業者など、リスクアセスメントを十分に実施することが難しい事業者を対象に、専門性よりも分かりやすさや簡潔さを優先させ、チェックリスト、危険やその対策を記載したシート。リスクレベルは考慮せずに作業毎に代表的な対策を記載。平成31年3月に粉じん作業を中心に拡充、更新を行った。 【初級】	-	<ul style="list-style-type: none"> 作業別モデル対策シート
CREATE-SIMPLE (クリエイト・シンプル)	有害性 ・ 危険性	サービス業や試験・研究機関などを含め、あらゆる業種の化学物質取扱事業者に向けた簡易なリスクアセスメントツール。取扱い条件(取扱量、含有率、換気条件、作業時間・頻度、保護具の有無等)から推定したばく露濃度とばく露限界値(またはGHS区分情報)を比較する方法。平成31年3月に、経皮吸収による健康リスクと危険性のリスクを同時に見積もることが可能となりました。 【初級】	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル FAQ検索ツール 設計基準 	<ul style="list-style-type: none"> CREATE-SIMPLE ver3.1.2 <p>(2025.7 更新)</p>

「クリエイトシンプル」をダウンロードします。

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

The image shows a Windows File Explorer window with a sidebar on the left containing 'ホーム' (Home), 'ギャラリー' (Gallery), 'デスクトップ' (Desktop), 'ダウンロード' (Downloads), and 'ドキュメント' (Documents). The main pane displays a file named 'CREATE-SIMPLE_ver3.1.2.xlsm' with a date of '2025/11/14 8:39' and a size of '2,844 KB'. Below the file list, there are navigation links for '今日' (Today), '昨日' (Yesterday), '今週に入って (昨日は含めず)' (This week starting from today (excluding yesterday)), '先週' (Last week), and '先月' (Last month).

The file is opened in Microsoft Excel. The ribbon at the top includes 'ファイル' (File), 'ホーム' (Home), '挿入' (Insert), 'ページレイアウト' (Page Layout), '数式' (Formulas), 'データ' (Data), '校閲' (Review), '表示' (View), '自動化' (Automation), '開発' (Developer), 'ヘルプ' (Help), and 'Power Pivot'. A yellow security warning banner at the top of the spreadsheet area reads: '保護ビュー 注意—インターネットから入手したファイルは、ウイルスに感染している可能性があります。編集する必要がある場合は、保護ビューのままにしておくことをお勧めします。' (Protected View: Warning—Files from the Internet may contain viruses. If you need to edit the file, you should keep it in Protected View.)

The spreadsheet content includes a 'Language' dropdown menu, a '注意事項' (Important) section, and a 'セキュリティの警告' (Security Warning) section. The '注意事項' section states: '本ツールは自動操作を行うプログラム（マクロ機能）を使用しています。起動時に[セキュリティの警告 無効にされました]との表示が出た場合には、右横にある[コンテンツの有効化]を押してください。' (This tool uses a program that performs automatic operations (macro function). If a message like [Security Warning: Disabled] appears at startup, click [Enable Content] on the right.)

The 'セキュリティの警告' section contains a red box with the text: 'セキュリティの警告 一部のアクティブ コンテンツが無効にされました。クリックすると詳細が表示されます。' (Security Warning: Some active content has been disabled. Click to see details.) and a button labeled 'コンテンツの有効化' (Enable Content).

Below this, there is a link to 'https://learn.microsoft.com/ja-jp/deployoffice/security/internet-macros-blocked' and a section titled '「セキュリティ リスク」の表示がでた場合は、以下の手順でマクロの実行のブロックの解除することが可能です。' (If the 'Security Risk' message appears, you can follow the steps below to unblock macro execution.)

The steps listed are: 'ファイルを右クリック→プロパティ (R) →全般タブの下部におけるセキュリティで「許可する」にチェック→OK' (Right-click the file → Properties (R) → General tab → Under Security, check 'Allow' → OK).

Below the steps, there is a red box with the text: 'セキュリティ リスク このファイルのソースが信頼できないため、Microsoft によりマクロの実行がブロックされました。' (Security Risk: The source of this file is not trusted, so Microsoft has blocked macro execution.) and a button labeled '詳細を表示' (Show details).

Below the red box, there is a white box with the text: 'セキュリティ: このファイルは他のコンピューターから取得したものです。このコンピューターを保護するため、このファイルへのアクセスはブロックされる可能性があります。' (Security: This file was obtained from another computer. To protect this computer, access to this file may be blocked.) and a checkbox labeled '許可する(K)' (Allow (K)).

At the bottom, there is a note: 'Office 2024以降では、ActiveXコントロールは既定で無効となり、警告メッセージが表示される場合があります。セキュリティ センターの設定の設定により、ActiveX コントロールの設定を変更し、使用してください。設定方法は、以下のURLを参照してください。' (In Office 2024 and later, ActiveX controls are disabled by default, and warning messages may be displayed. Depending on the settings in the Security Center, you may be able to change the settings for ActiveX controls. For more information, see the URL below.)

The URL provided is: 'https://support.microsoft.com/ja-jp/office/office-%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%81%A7-activex-...'

クリエイトシンプルを開き、マクロを有効化します

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

The screenshot shows the Microsoft Excel interface with a security warning banner at the top. The banner text is: 「セキュリティ リスク このファイルのソースが信頼できないため、Microsoft によりマクロの実行がブロックされました。」 (Security Risk: This file's source is not trusted, so Microsoft has blocked macro execution). A red rectangle highlights this banner. Below the banner, the worksheet content is visible, including a table with a header row containing 'Language' and a dropdown menu set to '日本語'. The table body contains a security notice in Japanese, a link to Microsoft's security page, and instructions on how to enable macros. A second, smaller version of the security warning banner is also visible within the table content, with a red rectangle highlighting the '許可する(K)' (Allow) button.

自動保存 ☐ オフ 保存 復元 撤回 共有 印刷 検索 CREA... ラ... この PC... 面雅也

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 自動化 開発 ヘルプ Power Pivot

貼り付け Meiryo UI 11 配置 数値 条件付き書式 テーブルとして書式設定 セルのスタイル セル 編集 データ分析 秘密度 アドイン

セキュリティ リスク このファイルのソースが信頼できないため、Microsoft によりマクロの実行がブロックされました。 詳細を表示

Language
日本語

○注意事項
・本ツールは自動操作を行うプログラム（マクロ機能）を使用しています。起動時に[セキュリティの警告 無効にされました]との表示が出た場合には、右横にある[コンテンツの有効化]を押してください。

セキュリティの警告 一部のアクティブ コンテンツが無効にされました。クリックすると詳細が表示されます。 コンテンツの有効化

・Microsoftのセキュリティ強化によりExcelのバージョン2203以降から、インターネットから取得したエクセルのマクロが実行できなくなる事象が発生しております。詳細は以下をご確認ください。
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/deployoffice/security/internet-macros-blocked>

・「セキュリティ リスク」の表示がでた場合は、以下の手順でマクロの実行のブロックの解除することが可能です。
ファイルを右クリック→プロパティ (R) →全般タブの下部におけるセキュリティで「許可する」にチェック→OK

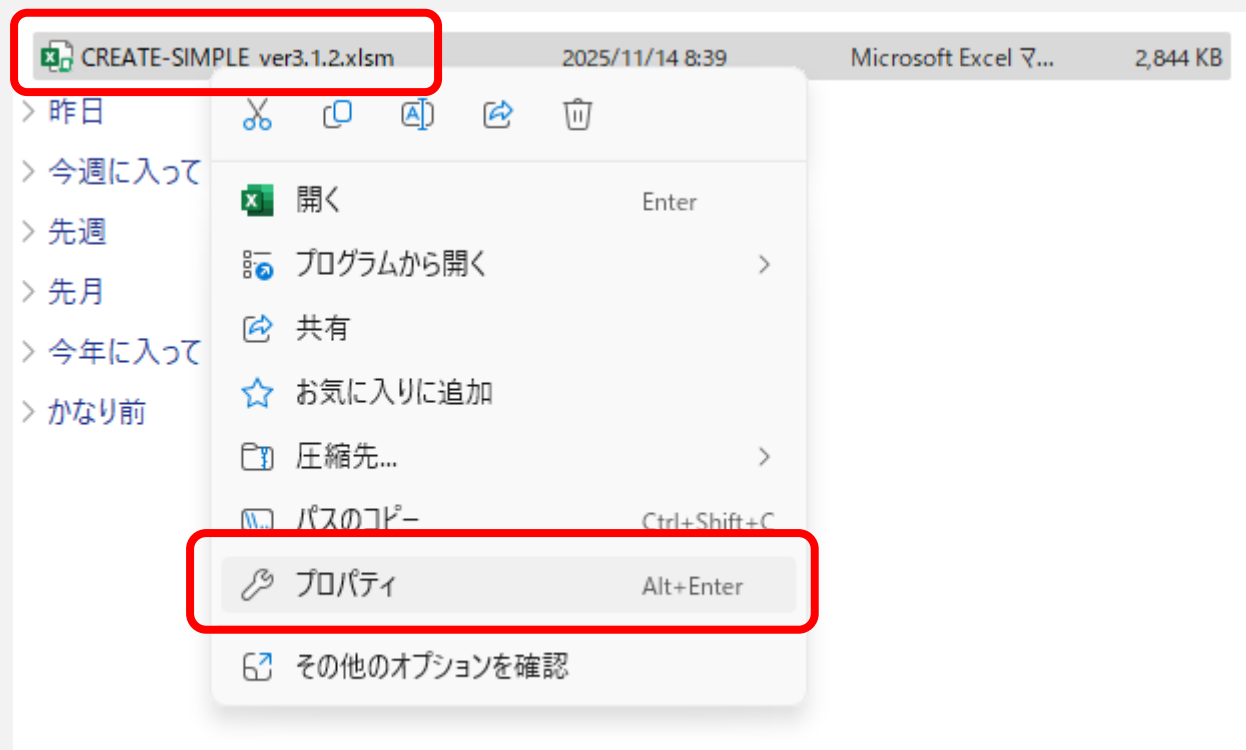
セキュリティ リスク このファイルのソースが信頼できないため、Microsoft によりマクロの実行がブロックされました。 詳細を表示

セキュリティ: このファイルは他のコンピューターから取得したものです。このコンピューターを保護するため、このファイルへのアクセスはブロックされる可能性があります。 ☒ 許可する(K)

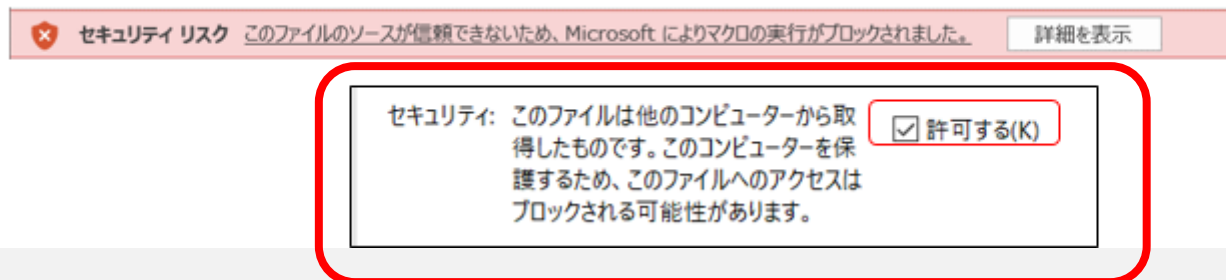
・Office 2024以降では、ActiveXコントロールは既定で無効となり、警告メッセージが表示される場合があります。セキュリティ センターの設定の設定により、ActiveXコントロールの設定を変更し、使用してください。設定方法は、以下のURLを参照してください。

上記のエラーが出る場合

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント



ファイルを右クリック→プロパティ（R）→全般タブの下部におけるセキュリティで「許可する」にチェック→OK



一旦閉じて、ファイルを右クリックし、プロパティを選択
セキュリティを許可してください。

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	CREATE-SIMPLE ver 3.0													
2	- サービス業など幅広い職場にむけた簡単な化学物質リスクアセスメントツール -													
3														
4														
5	- 説明 -													
6	<ul style="list-style-type: none">● リスクアセスメントとは、労働者の安全や健康への影響について評価をすることです。● CREATE-SIMPLEは、労働者の健康（吸入・経皮）への影響と物質の危険性について評価し、対策の検討を支援します。● SDSを確認して対象物質を決定し、以下のSTEP1から順番に入力してください。													
7														
8														
9	<div>結果呼出</div> <div>入力内容クリア</div>													
10	【STEP 1】対象製品の基本情報を入力しましょう。													
11	<div>製品DBから入力</div>													
12	タイトル													
13	実施場所													
14	製品ID等													
15	製品名等													
16	作業内容等													
17	備考													
18	リスクアセスメント対象	<input type="checkbox"/> 吸入	<input type="checkbox"/> 経皮吸収	<input type="checkbox"/> 危険性（爆発・火災）	性状	<input checked="" type="radio"/> 液体	<input type="radio"/> 粉体	<input type="radio"/> 気体	成分数	1				
19														
20														
21														
22	【STEP 2】取扱い物質に関する情報を入力してください。													
23	CAS RNで検索		物質一覧から選択		CAS RN一括入力		1	編集	▼詳細表示					
24	No	CAS RN	物質名							含有率 [wt%]				
25	1													
26														
27														
28														
29														
30														
31														
32														
33														
34														
35														
36														
37														
38														
39														
40														
41														
42														
43														
44														
45														
46														
47														
48														
49														
50														
51														
52														
53														
54														
55														
56														
57														
58														
59														
60														
61														
62														
63														
64														
65														
66														
67														
68														
69														
70														
71														
72														
73														
74														
75														
76														
77														
78														
79														
80														
81														
82														
83														
84														
85														
86														
87														
88														
89														
90														
91														
92														
93														
94														
95														
96														
97														
98														
99														
100														
101														
102														
103														
104														
105														
106														
107														
108														
109														
110														
111														
112														
113														
114														
115														
116														
117														
118														
119														
120														

備考（任意）

リスクアセスメントシート

実施レポート

結果一覧

製品DB

+

◀

▶

「リスクアセスメントシート」に入力していきます。

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

STEP1 対象製品の基本情報を入力しましょう

例 次亜塩素酸ナトリウムと水酸化ナトリウムを含む洗浄液の場合

【STEP 1】対象製品の基本情報を入力しましょう。

		製品DBから入力	
タイトル	洗浄作業のリスクアセスメント		
実施場所	作業室 A		
製品ID等	〇〇-〇〇〇〇		
製品名等	〇〇〇〇		
作業内容等	洗浄液をタオルにぬらして、機械の汚れをふき取る作業		
備考	次亜塩素酸ナトリウム、水酸化ナトリウム含有の洗浄液を使用		
リスクアセスメント対象	<input checked="" type="checkbox"/> 吸入 <input checked="" type="checkbox"/> 経皮吸収 <input type="checkbox"/> 危険性（爆発・火災）	性状 <input checked="" type="radio"/> 液体 <input type="radio"/> 粉体 <input type="radio"/> 気体	成分数 <input type="text" value="2"/>

吸入はデフォルトでチェックされています。
作業で皮膚接触の可能性がある場合は、経皮吸収も☒
SDSの情報から、爆発・火災の危険性がある場合は危険性（爆発・火災）に☒

製品の中に複数の対象物がある場合は、成分数を変更します。
今回は次亜塩素酸ナトリウムと水酸化ナトリウムがある前提なので「2」とします。

「STEP1」を入力します。

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

CREATE-SIMPLE ver 3.0

- 説明 -

- リスクアセスメントとは、労働安全衛生法に基づき、労働者の健康被害を防止するため、労働者に対するリスクアセスメントを実施すること。
- CREATE-SIMPLEは、労働安全衛生法に基づき、労働者の健康被害を防止するため、労働者に対するリスクアセスメントを実施すること。
- SDSを確認して対象物質を選択する。

【STEP 1】対象製品の登録

タイトル	洗浄
実施場所	作業
製品ID等	〇〇
製品名等	〇〇
作業内容等	洗浄
備考	次亜
リスクアセスメント対象	<input checked="" type="checkbox"/>

物質の選択

No. CAS RN

物質名

【STEP 2】物質に関する情報を入力してください。

CAS RNで検索 CAS RN一括入力

No	CAS RN	物質名	含有率 [wt%]
1			
2			

製品に含有する化学物質(リスクアセスメント対象物)を登録します。

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

STEP2 取扱い物質に関する情報を入力してください。

CREATE-SIMPLE ver 3.0

物質の選択

- 説明 -

- リスクアセスメントとは、労働時
- CREATE-SIMPLEは、労働時
- SDSを確認して対象物質を

【STEP 1】対象製品の

タイトル	洗浄
実施場所	作業
製品ID等	〇〇
製品名等	〇〇
作業内容等	洗浄
備考	次亜
リスクアセスメント対象	<input checked="" type="checkbox"/>

No. 2 CAS RN 物質名 水酸化ナトリウム 検索 クリア

1310-73-2 水酸化ナトリウム

入力 キャンセル

【STEP 2】取扱い物質に関する情報を入力してください。

CAS RNで検索 物質一覧から選択 CAS RN一括入力 2 編集 ▲非表示

No	CAS RN	物質名	含有率 [wt%]
1	7681-52-9	次亜塩素酸ナトリウム (有効塩素濃度：6～15%の水溶液)	

製品に含有する化学物質(リスクアセスメント対象物)を登録します。

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

【STEP 2】 取扱い物質に関する情報を入力してください。

CAS RNで検索	物質一覧から選択	CAS RN一括入力	2 ▼	編集	▼詳細表示
-----------	----------	------------	-----	----	-------

No	CAS RN	物質名	含有率 [wt%]
1	7681-52-9	次亜塩素酸ナトリウム (有効塩素濃度：6～15%の水溶液)	10

GHS分類	ばく露限界値	物理化学的性状	揮発性／飛散性	備考
皮膚腐食性／刺激性：区分1 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分1 特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分3		性状：液体 沸点：96 ℃ 水溶解度：29.3 g/100mL 蒸気圧：17.4 hPa	中揮発性（沸点：50℃以上～150℃未満）	皮膚等障害化学物質

No	CAS RN	物質名	含有率 [wt%]
2	1310-73-2	水酸化ナトリウム	10

GHS分類	ばく露限界値	物理化学的性状	揮発性／飛散性	備考
皮膚腐食性／刺激性：区分1 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分1 特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分1	日本産業衛生学会 最大許容濃度：2 mg/m3 ACGIH TLV-C：2 mg/m3	性状：粉体 分子量：39.99711 沸点：1390 ℃ オクタノール／水分分配係数：-3.88 水溶解度：1111 g/L		皮膚等障害化学物質

含有率を入力します。

ここでは、水酸化ナトリウムが「粉体」となっているので、液体に変更します(※)。
(※実際には変更する必要はありません)

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

×

No. 2 CASRN: 1310-73-2 物質名: 水酸化ナトリウム			
性状			
<input checked="" type="radio"/> 液体 <input type="radio"/> 粉体 <input type="radio"/> 気体 揮発性／飛散性		低揮発性（沸点：150℃以上）	取扱温度
			25 ℃ 沸点 1390 ℃
ばく露限界値			
8時間濃度基準値	<input type="text"/> mg/m ³	ACGIH TLV-TWA	<input type="text"/> mg/m ³
短時間濃度基準値	<input type="text"/> mg/m ³	ACGIH TLV-STEL	<input type="text"/> mg/m ³
		ACGIH TLV-C	2 mg/m ³
日本産業衛生学会 許容濃度	<input type="text"/> mg/m ³	DFG MAK	<input type="text"/> mg/m ³
日本産業衛生学会 最大許容濃度	2 mg/m ³	DFG Peak lim	<input type="text"/> mg/m ³
			使用するばく露限界値 デフォルト
GHS分類			
爆発物	<input type="text"/>	自然発火性液体	<input type="text"/>
可燃性ガス	<input type="text"/>	自然発火性固体	<input type="text"/>
エアゾール	<input type="text"/>	自己発熱性化学品	<input type="text"/>
酸化性ガス	<input type="text"/>	水反応可燃性化学品	<input type="text"/>
高压ガス	<input type="text"/>	酸化性液体	<input type="text"/>
引火性液体	<input type="text"/>	酸化性固体	<input type="text"/>
可燃性固体	<input type="text"/>	有機過酸化物	<input type="text"/>
自己反応性化学品	<input type="text"/>	金属腐食性化学品	<input type="text"/>
		鈍性化爆発物	<input type="text"/>
		急性毒性（経口）	<input type="text"/>
		急性毒性（経皮）	<input type="text"/>
		急性毒性（吸入：ガス）	<input type="text"/>
		急性毒性（吸入：蒸気）	<input type="text"/>
		急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	<input type="text"/>
		皮膚腐食性／刺激性	区分1
		眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分1
		呼吸器感作性	<input type="text"/>
		皮膚感作性	<input type="text"/>
		生殖細胞変異原性	<input type="text"/>
		発がん性	<input type="text"/>
		生殖毒性	<input type="text"/>
		特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分1
		特定標的臓器毒性（反復暴露）	<input type="text"/>
		誤えん有害性	<input type="text"/>
物理化学的性状			
分子量	39.99711	水溶解度	1111 g/L
オクタノール／水分配係数	-3.88	蒸気圧	<input type="text"/>
引火点	<input type="text"/>		
入力		キャンセル	

性状の液体にチェックし、取り扱い温度を入力します。

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

【STEP 2】 取扱い物質に関する情報を入力してください。

CAS RNで検索

物質一覧から選択

CAS RN一括入力

2

編集

▼詳細表示

No	CAS RN	物質名	含有率 [wt%]
1	7681-52-9	次亜塩素酸ナトリウム (有効塩素濃度：6～15%の水溶液)	10

GHS分類	ばく露限界値	物理化学的性状	揮発性／飛散性	備考
皮膚腐食性／刺激性：区分1 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分1 特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分3		性状：液体 沸点：96 ℃ 水溶解度：29.3 g/100mL 蒸気圧：17.4 hPa	中揮発性（沸点：50℃以上～150℃未満）	皮膚等障害化学物質

No	CAS RN	物質名	含有率 [wt%]
2	1310-73-2	水酸化ナトリウム	10

GHS分類	ばく露限界値	物理化学的性状	揮発性／飛散性	備考
皮膚腐食性／刺激性：区分1 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分1 特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分1	日本産業衛生学会 最大許容濃度：2 mg/m3 ACGIH TLV-C：2 mg/m3	性状：液体 分子量：39.99711 沸点：1390 ℃ オクタノール／水分配係数：-3.88 水溶解度：1111 g/L	低揮発性（沸点：150℃以上）	皮膚等障害化学物質

性状が液体に変更されました。

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

STEP3 以下の作業内容に関する質問に答えましょう。

【STEP 3】以下の作業内容に関する質問に答えましょう。

保存

Q1 製品の取扱量はどのくらいですか。

微量（10mL以上～100mL未満）

Q2 スプレー作業など空气中に飛散しやすい作業を行っていますか。

いいえ

スプレー、ミスト、粉体塗装、研磨など

Q3 化学物質を塗布する合計面積は1m²以上ですか。

はい

Q4 作業場の換気状況はどのくらいですか。

換気レベルB（全体換気）

Q5 1日あたりの化学物質の作業時間（ばく露時間）はどのくらいですか。

1時間超～2時間以下

Q6 化学物質の取り扱い頻度はどのくらいですか。

Q7 作業内容のばく露濃度の変動

換気状況

補足説明、事例

特に換気がない部屋

・換気のない密閉された部屋でも、通常人がいる環境であれば最低限の自然換気はあると考えられる。

Q8 化学物質が皮膚に接触する面

全体換気

・窓やドアが開いている部屋。
・一般的な換気扇のある部屋（例：台所用小型換気扇）。
・ビル内で全体空調がある場合（例：中央管理区分式の空調）。一般に一定程度の外気取入れがある。
・大空間の屋内の一部（例：ショッピングセンターや大きな作業場の一隅など）。

Q9 取り扱う化学物質に適した手袋

工業的な全体換気、屋外作業

・工業的な全体換気装置のある部屋（換気扇や排風機）。
・屋外作業。

Q10 手袋の適正な使用方法に関する

外付け式局所排気装置

・化学物質の発散源近くで上方向や横方向から吸引する場合（例：調理場の上部吸引フード）
・プッシュプル型換気装置

備考（任意）

囲い式局所排気装置

・実験室のドラフトチャンバーの中に化学物質を置いて作業する場合など

密閉容器内での取扱い

・密閉設備（漏れがないこと）
・グローブボックス（密閉型作業箱）の中に化学物質を置いて作業する場合など

STEP3を入力します

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

【STEP 3】以下の作業内容に関する質問に答えましょう。

保存

Q1 製品の取扱量はどのくらいですか。

微量（10mL以上～100mL未満）

Q2 スプレー作業など空气中に飛散しやすい作業を行っていますか。

いいえ

Q3 化学物質を塗布する合計面積は1m²以上ですか。

はい

Q4 作業場の換気状況はどのくらいですか。

換気レベルB（全体換気）

Q5 1日あたりの化学物質の作業時間（ばく露時間）はどのくらいですか。

1時間超～2時間以下

準備・片付け中に、ばく露する恐れがある場合はその時間を含む

Q6 化学物質の取り扱い頻度はどのくらいですか。

週1回以上

➡

5

日/週

Q7 作業内容のばく露濃度の変動の大きさはどのくらいですか。

ばく露濃度の変動が大きい作業

作業期間におけるばく露濃度の変動の大きさを選択する。
多くの作業が、ばく露濃度の変動が小さい作業に該当する。
・ばく露濃度の変動が小さい作業
例）製造ラインにおける製品の自動洗浄
例）性能等が確保された局所排気装置が設置されている作業場における洗浄作業

Q8 化学物質が皮膚に接触する面積はどのくらいですか。

両手及び手首

Q9 取り扱う化学物質に適した手袋を着用していますか。

耐透過性・耐浸透性の手袋を着用している

Q10 手袋の適正な使用方法に関する教育は行っていますか。

教育や訓練を行っていない

・ばく露の変動が大きい作業
例）局所排気装置が設置されていない、または局所排気装置の性能等が確保されていない作業場における化学品の投入・軽量、手作業による洗浄作業

備考（任意）

STEP3を入力します

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

STEP4 リスクの判定

STEP 4 リスクの判定

リスクを判定

実施レポートに出力

	ばく露限界値（管理目標濃度）			推定ばく露濃度			リスクレベル				危険性 （爆発・火災等）
	吸入 （8時間）	吸入 （短時間）	経皮吸収	吸入 （8時間）	吸入 （短時間）	経皮吸収	吸入 （8時間）	吸入 （短時間）	経皮吸収	合計 （吸入＋経皮）	
1	7681-52-9 次亜塩素酸ナトリウム（有効塩素濃度：6～15%の水溶液）						皮膚等障害化学物質、リスクレベルS				
	0.5～5 ppm	15 ppm	-	0.9～9 ppm	36 ppm	-	Ⅲ	Ⅲ	-	Ⅲ	-
2	1310-73-2 水酸化ナトリウム						皮膚等障害化学物質、リスクレベルS				
	0.01～0.1 mg/m3	2 mg/m3	0.75 mg/day	0 mg/m3	0 mg/m3	130 mg/day	I	I	IV	IV	-

判定結果

有害性	リスクアセスメントのための測定等を実施するか、リスクを下げる対策を実施しましょう。 皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアルに従い、適切な皮膚障害等防止用保護具を着用しましょう。
危険性 （爆発・火災等）	

STEP 4 リスクの判定

リスクを判定

実施レポートに出力

1	7681-52-9 次亜塩素酸ナトリウム（有効塩素濃度：6～15%の水溶液）	皮膚等障害化学物質、リスクレベルS
2	1310-73-2 水酸化ナトリウム	皮膚等障害化学物質、リスクレベルS

レポートが作成されました。レポートに移動します。

OK

リスクを判定し
結果を実施レポートに出力します。

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

リスクアセスメント実施レポート

- 説明 -
- リスクアセスメントシートで実施した結果が表示されます。
 - このシートでリスク低減措置の内容を検討し、労働者に周知を行います。

No	2
実施日	2025/11/14
実施者	

PDFに保存

結果呼出

入力内容クリア

基本情報

タイトル	洗浄作業のリスクアセスメント
実施場所	作業室 A
製品ID等	〇〇-〇〇〇〇
製品名等	〇〇〇〇
作業内容等	洗浄液をタオルにぬらして、機械の汚れをふき取る作業
備考	次亜塩素酸ナトリウム、水酸化ナトリウム含有の洗浄液を使用

No	CAS RN	物質名	含有率 [wt%]
1	7681-52-9	次亜塩素酸ナトリウム (有効塩素濃度：6～15%の水溶液)	10
2	1310-73-2	水酸化ナトリウム	10

リスク低減対策の検討

※「リスク低減対策の検討」のQ1～Q15の選択肢を変更し、【再度リスクを判定】をクリックすることによって、リスク低減対策後の結果が表示されます。

リスクの再判定

設問		現状	対策後	リスク低減対策の検討
吸入	Q1. 取扱量	微量 (10mL以上～100mL未満)		微量 (10mL以上～100mL未満)
	Q2. スプレー作業の有無	いいえ		いいえ
	Q3. 塗布面積1m2超	はい		はい
	Q4. 換気レベル	換気レベルB (全体換気)		換気レベルB (全体換気)
	制御風速の確認			
	Q5. 作業時間	1時間超～2時間以下		1時間超～2時間以下

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

事業場で実行可能な低減対策を検討し、実行します。

リスク低減対策の検討

※「リスク低減対策の検討」のQ1～Q15の選択肢を変更し、【再度リスクを判定】をクリックすることによって、リスク低減対策後の結果が表示されます。

リスクの再判定

設問	現状	対策後	リスク低減対策の検討
吸入	Q1. 取扱量	微量（10mL以上～100mL未満）	微量（10mL以上～100mL未満）
	Q2. スプレー作業の有無	いいえ	いいえ
	Q3. 塗布面積1m2超	はい	はい
	Q4. 換気レベル	換気レベルB（全体換気）	換気レベルB（全体換気）
	制御風速の確認		
	Q5. 作業時間	1時間超～2時間以下	1時間超～2時間以下
	Q6. 作業頻度	5日／週	5日／週
	Q7. ばく露の変動の大きさ	ばく露濃度の変動が小さい作業	ばく露濃度の変動が小さい作業
	[オプション] 呼吸用保護具		
	フィットテストの方法		
経皮吸収	Q8. 接触面積	両手及び手首	両手及び手首
	Q9. 化学防護手袋	耐透過性・耐浸透性の手袋の着用している	耐透過性・耐浸透性の手袋の着用している
	Q10. 保護具の教育	教育や訓練を行っていない	基本的な教育や訓練を行っている

備考（任意）

ここでは、教育・訓練を行うこととし、リスクの再判定

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

再判定後のリスクレベルが出力されます。

リスクの再判定結果

	ばく露限界値（管理目標濃度）			推定ばく露濃度			リスクレベル				
	吸入 （8時間）	吸入 （短時間）	経皮吸収	吸入 （8時間）	吸入 （短時間）	経皮吸収	吸入 （8時間）	吸入 （短時間）	経皮吸収	合計 （吸入＋経皮）	危険性 （爆発・火災等）
1	7681-52-9 次亜塩素酸ナトリウム（有効塩素濃度：6～15%の水溶液）						皮膚等障害化学物質、リスクレベルS				
現状	0.5～5 ppm	15 ppm	-	0.9～9 ppm	36 ppm	-	Ⅲ	Ⅲ	-	Ⅲ	-
対策後	0.5～5 ppm	15 ppm	-	0.9～9 ppm	36 ppm	-	Ⅲ	Ⅲ	-	Ⅲ	-
2	1310-73-2 水酸化ナトリウム						皮膚等障害化学物質、リスクレベルS				
現状	0.01～0.1 mg/m3	2 mg/m3	0.75 mg/day	0 mg/m3	0 mg/m3	130 mg/day	I	I	Ⅳ	Ⅳ	-
対策後	0.01～0.1 mg/m3	2 mg/m3	0.75 mg/day	0 mg/m3	0 mg/m3	65.1 mg/day	I	I	Ⅳ	Ⅳ	-

有害性	リスクアセスメントのための測定等を実施するか、リスクを下げる対策を実施しましょう。 皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアルに従い、適切な皮膚障害等防止用保護具を着用しましょう。
危険性 （爆発・火災等）	

リスクレベルが高いもの（Ⅲ・Ⅳ）については、
更なる低減対策を検討し、実行してください。

リスクレベルがⅡ－Bとなった場合は、確認測定の実施が推奨されます。
確認測定により実測値が上記の推定ばく露濃度より低ければ、低減対策の
優先度は低くなります。

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

出力する結果をリストから出力後「リスクアセスメントシートに出力」または「実施レポートに出力」のボタンを押してください。

リスクアセスメントシートに出力

実施レポートに出力

[illegible]

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

CREATE-SIMPLE ver 3.0

- サービス業など幅広い職場にむけた簡単な化学物質リスクアセスメントツール -

- 説明 -

● リスクアセスメントとは、労働者の安全や健康への影響について評価をすることです。

● CREATE-SIMPLEは、労働者の健康（吸入・経皮）への影響と物質の危険性について評価し、対策の検討を支援します。

● SDSを確認して対象物質を決定し、以下のSTEP1から順番に入力してください。

No2

実施日2023/11/14

実施者

違う製品をリスクアセスメントする場合は、この数字を変更してください。
この数字は、結果一覧シートの「No」と連動しています。

【STEP 1】対象製品の基本情報を入力しましょう。

製品DBから入力

タイトル

実施場所

製品ID等

製品名等

作業内容等

備考

リスクアセスメント対象

☐ 吸入

☐ 経皮吸収

☐ 危険性（爆発・火災）

性状

☒ 液体

☐ 粉体

☐ 気体

成分数

1

【STEP 2】取扱い物質に関する情報を入力してください。

CAS RNで検索

物質一覧から選択

CAS RN一括入力

1

編集

▼詳細表示

NoCAS RN物質名含有率 [wt%]

1

【STEP 3】以下の作業内容に関する質問に答えましょう。

保存

備考（任意）

トップ

リスクアセスメントシート

実施レポート

結果一覧

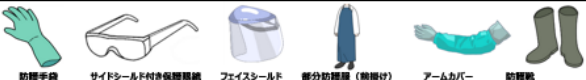

製品DB

+

◀

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

参考 厚生労働省より 業種・作業別マニュアル が公開されています。

食料品製造業における製造・加工設備の洗浄作業 化学物質管理マニュアル						
化学物質管理者		保護員着用管理責任者		作業者（又は職長等）		
作業情報						
作業内容				化学品名・メーカー名		成分名 ※裏表紙のチェック欄に✓
作業期間（任意）				備考（任意）		
化学物質取扱時の留意点						
危険性 （火災爆発に関連）	-			リスク低減対策		
有害性 （健康有害性に関連）	 <ul style="list-style-type: none">○吸入すると有害○接触により皮膚及び眼への損傷やアレルギー性皮膚反応を起こすおそれ○長期にわたる吸入や皮膚からのばく露により、呼吸器、臓器、中枢神経系への障害のおそれがある。			保護員の留意点	<ul style="list-style-type: none">○皮膚等障害化学物質を含む場合、保護手袋、保護衣、保護靴は不透透性のものを選択する。○手袋着用前には、傷・穴あき確認を実施する。○手袋を脱ぐ際には、手袋に付着する化学物質が身体に付着しないよう、化学物質の付着面が内側になるように脱ぐ。	
緊急時の対応	<ul style="list-style-type: none">○皮膚に付着した場合はすぐに拭き取り、石鹸水及び水で洗い流す。炎症等が出た場合、速やかに医師の診断を受ける。○眼に入った場合直ちに清浄な流水で数分間洗眼した後、医師の処置を受ける。なお強アルカリ性の場合は、少なくとも15分間洗眼する。			実施すべき事項／留意点	<ul style="list-style-type: none">○SDSやpH試験紙等で洗浄剤のpH値あらかじめ確認する。○洗浄剤の小分け容器には、「洗浄剤の名称」「人体に及ぼす作用」「希釈倍率」「作成日」「選定する危険（必要に応じて）」を貼付する。○足元に洗浄剤を撒く場合、滑って転倒し化学物質が身体に付着しないように注意する。○作業中は換気扇を作動させる。○作業の終了後は、すぐに手を洗う。	
リスク低減措置						
作業内容		吸入対策	保護手袋	保護眼鏡	保護衣・保護靴	備考
㉔	希釈・小分け	-	ニトリゴム製の防護手袋を使用する。	サイドシールド付き保護眼鏡を着用する。 ただしアルカリ性の洗浄剤を使用する場合は、フェイスシールドを着用する。	アルカリ性の洗浄剤を使用する場合は、防水性の部分防護服（前掛け等）、アームカバーを使用する。	希釈時は水しぶきが上らないように水面近くでゆっくり投入する。 小分け容器に移す際は漏斗を使用する。 希釈後の洗浄剤タンクや容器は、低い位置で保管する。
㉕	部品等の手洗い	-	ニトリゴム製の防護手袋を使用する。 なお洗浄剤に「2-アミノエタノール」が含まれる場合は、240分以内に手袋を交換する。	サイドシールド付き保護眼鏡を着用する。	アルカリ性の洗浄剤を使用する場合は、防水性の部分防護服（前掛け等）を着用する。	保護手袋に付着した洗浄剤が身体に付着しないよう留意する。 付着が避けられない場合は、付着部位を覆う保護衣を着用する。
㉖	フォームガンによる洗浄	-	ニトリゴム製の防護手袋を使用する。	サイドシールド付き保護眼鏡を着用する。	アルカリ性の洗浄剤を使用する場合は、防水性の防護靴を着用する。 なお、身体より高い位置を洗浄する場合は、付着可能性のある部位を覆う防水性の部分防護服、アームカバーを使用する。	-
従事する作業		選択したものを記載	選択したものを記載	選択したものを記載	選択したものを記載	選択したものを記載
※㉔㉕㉖を記載		※化学物質管理者又は保護員着用管理責任者が記入	※保護員着用管理責任者が記入	※保護員着用管理責任者が記入	※保護員着用管理責任者が記入	※保護員着用管理責任者が記入
記録欄						
異常の記録 ※保護員の着用忘れ、こぼした、傷に入ったなどの異常や、応急処置の内容等の記録を記載				その他記録		

詳細は「化学物質リスクアセスメントについて」で検索

第2部 クリエイトシンプルを活用したリスクアセスメント

参 考

無料

中小規模事業場のみなさまへ
労働安全衛生法に基づく
化学物質管理の相談窓口

ラベル・SDS・リスクアセスメントをはじめ、政省令改正による「新たな化学物質規制」に関する内容などのご質問にお答えします。

■ 労働安全衛生法の関係政省令改正の主な概要

- ◇ 化学物質を製造・取扱う労働者への適切な保護具の使用
- ◇ ラベル・SDS・リスクアセスメント義務対象物質の大幅増加
- ◇ 労働者がばく露される程度を濃度基準値以下※1または最小限度※2にする義務
- ◇ 自律的な管理に向けた実施体制の確立

※1：濃度基準値設定物質が対象 ※2：※1以外のリスクアセスメント対象物が対象

■ よくあるお問合せ

ラベル・SDS 関係	リスクアセスメント 関係	政省令改正 関係
・ラベルやSDSが必要になるのはどんな化学物質や化学品ですか	・化学物質のリスクアセスメントはどのように行えばいいですか	・新たな化学物質規制にはどのように対応すればいいですか
・ラベルやSDSの内容が分からないのですが	・「CREATE-SIMPLE」の使用方法	・特殊健康診断の実施頻度緩和とは何ですか
・秘密保持の場合の対応について	・リスクを低減するためにはどのような措置を講ずるべきか知りたい	・濃度基準値以下の確認方法は

開設期間 令和7年5月19日～令和8年3月18日
受付時間 月～金 10:00～17:00
(12:00～13:00を除く / 土日祝日、国民の休日、年末年始を除く)

☎ 050-5577-4862

📧 テクノヒルHPからお問合せフォームをご利用いただけます。 [テクニカル 相談窓口](#) [検索](#) [と検索ください。](#)

* 相談は無料ですが、通話料がかかります。
* メールでのお問い合わせについては、内容に応じて電話でご回答になる場合がございますのでご了承ください。

厚生労働省 令和7年度 厚生労働省「化学物質管理に係る相談を通じた周知事業」
【事務局】テクノヒル株式会社 化学物質管理部門 <https://technohill.co.jp/>

